

令和 7 年度

大学院薬学研究科 (博士後期課程) 入学試験問題

外国語科目

『英語 (生物)』

令和 7 年 2 月 15 日

受験番号	氏名

I. 次の英文を読み、各設問に答えなさい。

[Redacted text block]

出典 (Nature, 25 August 2022)

① 下線部の英文を和訳せよ。

② Lara Hawthorneは、コロナ後遺症の原因を何であると考えたか説明せよ。

③ Lara Hawthorneがコロナ後遺症を改善するためにどのような行動をとったか説明せよ。

II. 次の英文を読み、各設問に答えなさい。

[Redacted text block]

出典 (Nature, 26 November 2014)

① がん免疫療法の先駆けとされているWilliam Coleyの仮説およびそのがん治療法について説明せよ。

② 下線部の英文を和訳せよ。

③ 次の日本語を英訳せよ

腫瘍特異的な変異に対する免疫応答は、チェックポイント遮断治療により生じる抗腫瘍活性において中心的な役割を果たしている。

解答例

著作権の関係から解答例については非開示とします。

出題の意図

設問 I の①は、COVID19 に感染後に発症するコロナ後遺症に関する説明文を題材とした英文読解問題である。基本的な生物分野の英単語の知識および英文を正確に読解する力を確認することを意図として出題した。

設問 I の②は、COVID19 に感染後に発症するコロナ後遺症に関する英文読解を通じて、登場人物の考えを中心に内容が理解できているかを問うものである。

設問 I の③は、COVID19 に感染後に発症する感染症後遺症に関する英文読解を通じて、登場人物がコロナ後遺症を改善するためにとった行動を中心に内容が理解できているかを問うものである。

設問 II の①は、がん免疫および最新のがん免疫療法の一つである免疫チェックポイント阻害剤に関する英文読解を通じて、がん免疫療法の先駆けとなった研究を中心に内容が理解できているかを問うものである。

設問 II の②は、免疫チェックポイント阻害剤に関する説明文を題材とした英文読解問題である。基本的な免疫分野の英単語の知識および英文を正確に読解する力を確認することを意図として出題した。

設問 II の③は、腫瘍特異的な免疫応答および免疫チェックポイント機構に関する英訳問題である。適切な英単語、構文、文法を用いて正確に英訳できているかを問うものである。